

平成 26 年度文部科学省委託事業「体験活動推進プロジェクト」

# 岐阜県防災キャンプ推進事業 実施報告書

平成 27 年 3 月

## 目次

- 事業の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 開催実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 運営体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 実施内容
  - ① 山間部（小規模校）の防災キャンプ【郡上市】・・・・・・・・ 3
  - ② 平野部（小規模校）の防災キャンプ【御嵩町】・・・・・・・・ 7
  - ③ 都市部（中規模校）の防災キャンプ【中津川市】・・・・・・・・ 11
- 防災キャンプの普及啓発・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

## 事業の趣旨

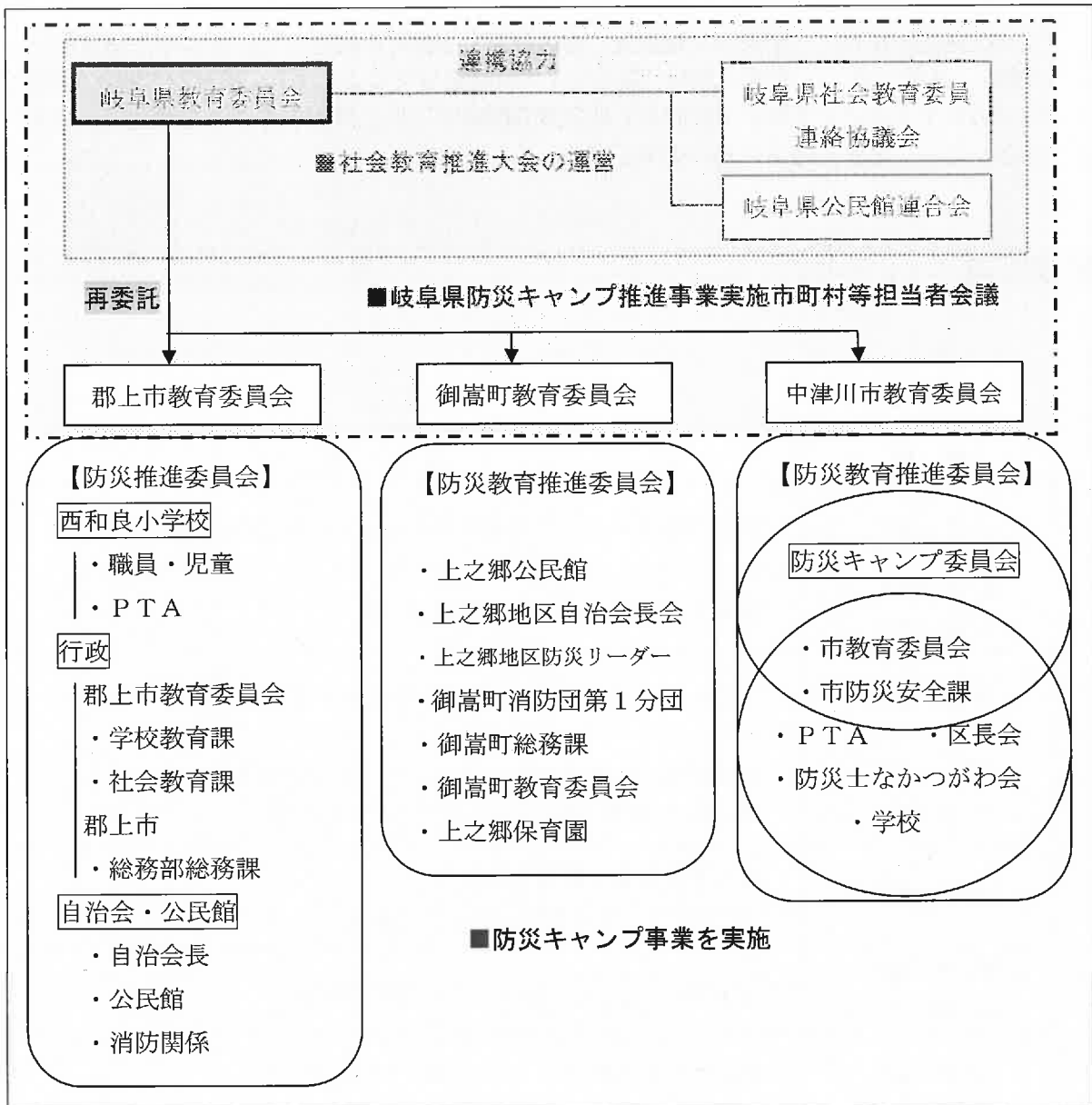
学校や公民館を舞台に、学校や地域社会、関係機関・団体等が協力して、青少年に防災キャンプの機会を提供し、体験を通して地域社会の一員としての自覚を育てるとともに、防災の大切さを実感させる。

また、防災キャンプの実践を学校教育・社会教育関係者に広く周知することを通して、防災教育を推進するとともに、地域の防災活動の充実を図る。

## 開催実績

月 日	内 容
6/2 (月)	岐阜県防災キャンプ推進事業実施市町村等担当者会議
6/29 (日) 6/30 (月)	西和良ちごのねキャンプ【郡上市】
9/9 (火)	防災キャンプ in かみのごう減災教室【御嵩町】
10/1 (水) 10/2 (木)	中津川第一中学校区防災キャンプ【中津川市】 ※7/10, 11開催予定だったが台風のため延期
10/2 (木)	岐阜県社会教育推進大会 ・全体会で「岐阜県防災キャンプ事業」について発表
10/24 (金) 10/25 (土)	防災キャンプ in かみのごう【御嵩町】
11/30 (日)	中津川防災体験フェスティバル【中津川市】

# 運営体制



## <再委託先詳細>

委 託 先	郡上市	御嵩町	中津川市
委 託 先 住 所	岐阜県郡上市八幡町 島谷207-1	岐阜県御嵩町御嵩 1239-1	岐阜県中津川市 栄町1-1
再委託の範囲	防災キャンプ実施	防災キャンプ実施	防災キャンプ実施
再委託の必要性	市町村が実施したほうが普及・教育効果が期待できる。		

## 実施内容

### ① 山間部（小規模校）の防災キャンプ【郡上市】

#### 【活動名】

ちごのねキャンプ(西和良小学校防災キャンプ)

#### 【活動趣旨】

西和良小学校は、県の防災教育推進校として他の2校と連携を図り、防災教育カリキュラムの整備、防災スキルを高めるためのショートトレーニングの実施、地域と連携した防災体制づくり等に取り組んでいる。子どもたちは、命の大切さを授業や体験活動を通して学び、自分の身を自分で守るための知識を身につけ、いざという時に備えるための技能を高めてきている。また、消防団の方々による危険個所の現地説明やハザードマップの作成など、防災教育にかかわる地域の支えが厚く、子どもたちを地域で守ろうとする意識が高い。

西和良地域は、急傾斜地が多く、川は屈曲して流れており、大雨や集中豪雨時には、山崩れや崖崩れ、道路の決壊、土石流の発生が起きることが予想される。そのような非常変災時には、学校が避難所の一つとして重要な役割を担うことになる。

そこで、今回の防災キャンプでは、大規模地震による河川の決壊や土砂災害が起きた場合を想定し、その災害想定場所や災害状況について現地に赴いて学習するとともに、地域の方を交えた避難訓練を実施するとともに、校区内の危険個所について認知するプログラムを取り入れる。さらに、学校の体育館や教室を利用した避難所設営訓練、避難所生活体験を行う。これらの活動により、学校が地域の中で果たす役割や課題、地域における自助・共助について考えることを通して、地域全体の防災・減災意識を高めていきたい。

#### 【実施日】

平成26年6月29日（日）～平成26年6月30日（月）

#### 【実施場所】

郡上市立西和良小学校（岐阜県郡上市八幡町美山2525）

#### 【参加範囲】

西和良小学校全児童及びその保護者と地域住民

#### 【参加人数】

184人（西和良小学校児童10名・保護者8名・地域住民166名）



参加した地域の方々



段ボールハウス

【プログラム】

(1) 児童プログラム

日 時	プログラム	プログラム詳細
6月29日(日) 8:10~8:20	朝の会 (各学級)	朝の会 キャンプ準備
8:30~9:30	① 避難所宿泊場所設営訓練	段ボールを使って、自作段ボールハウスを作る。 (5, 6年生) 時間がないので放課後などを使って事前に作っておく。 (2, 3, 4年生は明日の準備)
9:30~9:40	② キャンプ開会式 消防署の方の話	全校児童参加
9:40~10:30	③ 防災サバイバル ・開会式 ・火おこし体験	
10:30~12:00	④ 飯盒炊爨 ・火おこした火を使って	外でかまどをつくり、飯盒でご飯を炊く班と、家庭科室でカレーとサラダを準備する班に分かれる。
12:00~12:30	昼食	
13:00~14:30	⑤ 防災サバイバル ・濾過機づくり ・灯籠づくり ・防災無線	
15:00~18:00	⑥ 救急救命講習 ⑦ 仮設トイレ設置 ⑧ 煙体験 ⑨ 消火訓練 ⑩ 伝言ダイヤル	児童、保護者も地域の活動の中に入って活動する。
18:00~18:50	⑪ 炊き出し訓練 ・非常食を各自で作って食べる ・児童夕食	
19:00~20:30	キャンドルサービス	5, 6年生が中心に計画を立て実施
20:30~21:00	⑫ 夜間ハイク ・夜食を買いに行く	
21:00~22:00	シャワータイム (保健室) 歯磨き 消灯	順番にシャワー (5, 6年) (一人あたり5分程度) 自分の作った段ボールハウスに入って就寝。

6月30日(月) 6:00~6:30	⑬ 命を守る訓練 ・緊急地震速報発令	緊急地震速報が発令されたので起床し、安全を確保する。 安全が確認されたら、放送の指示に従い行動する。
6:30~7:00	朝食 洗顔 歯磨き 片付け	朝食づくり (ごはんのみそ汁) 昼食用のおにぎり作り
8:00~8:10	1~4年生登校 朝の会	
8:30~9:30	⑭ 防災教室	防災についての話を聞く
9:45~11:30	自然体験 川遊び(カワゲラウォッチング)	3, 4年生のリードで行う。
12:00~12:40	昼食 (おにぎり) (休憩)	
12:40~13:10	学級の時間	学級ごとにキャンプで学んだことをまとめる。
13:20~13:50	⑮ キャンプ閉会式	学んだことの発表 消防署のご指導
14:00	下校	

## (2) 地域住民プログラム

日時	プログラム詳細
6月29日(日) 14:30~14:45	防災無線 各自、各家庭で1次避難場所へ移動
14:45~15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次避難場所で人員確認後、2次避難場所(学校)へ移動開始 安否確認(組長→区長)</li> <li>・某地区において土砂崩れ発生、人が巻き込まれている可能性あり、消防団に出勤要請。 分団長→某分団 某分団は出勤し現場確認に向かう 確認後西和良小へ</li> </ul>
15:00~15:10	学校集合完了 地区ごとに人員報告(区長→自治会長) 並び場所指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴は各自置いてあるビニール袋に入れ持ち歩く</li> <li>・「〇〇地区総員〇〇名、避難人員〇〇名、家庭に待機〇〇名、職場、学校等で待機〇〇名、不明〇〇名、以上」</li> </ul>
15:10~15:25	① 全体会(開会式)(終了まで全体進行は主事) 緊張感もって静かに整然と行う <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長あいさつ</li> <li>・体験活動の説明 体験の概略と回り方 注意事項</li> </ul>

15:25～16:15	Aグループ（小学生・保護者、西部・夕谷・洲河地区） ② A E D（15:30～16:00） ③ 仮設トイレ・展示 ④ 煙体験 ⑤ 起震車体験 ⑥ 消火器訓練 ⑦ 伝言ダイヤル（16:20～16:40、16:45～17:05）	Bグループ（中高生、東部・鬼谷・貢間・大洞地区） ② 起震車体験 ③ 消火器訓練 ④ 伝言ダイヤル（15:30～15:50、15:55～16:15） ⑤ A E D（16:20～16:50） ⑥ 仮設トイレ・展示 ⑦ 煙体験
17:10～17:40	⑧ 非常食体験 ・非常食を受け取り決められた場所で各自非常食をつくる ・食べ終わったら片づけをし、感想シートを書く。書いたら箱に入れる	
17:50～18:00	⑨ 全体会（閉会式） ・消防分団長総括 ・公民館長あいさつ ・学校長あいさつ	
18:00	解散（注意事項＝忘れ物、帰りの安全等）	

### 【成果】

- ・運営面で、学校、地域、行政の三者が協力して取り組めた。
- ・青少年への防災教育として、消防団の動き作りや非常食の準備など、地域が進んで防災教育に関わることができた。
- ・地域と学校の連携の面では、2年間の防災教育推進校としての歩みが基礎になり、地域参加型で今回の防災キャンプを実施できた。

### 【課題】

- ・「安否確認カードを毎年作成すること」、「各地区で防災組織を毎年確認すること」、「公助より自助・共助をより意識した地域づくり」の3つを大切にしていくことを確認した。
- ・この防災キャンプを通して、助け合いの大切さや、組織的に災害に備える体制作りについて地域で取り組んでいくことが確認できた。さらに住みよい地域にするために連携を深めていきたい。



子どもたちと地域住民が協力して作った  
西和良校区安全マップ



火事の煙の怖さがわかる煙体験



## ② 平野部（小規模校）の防災キャンプ

【御嵩町】

### 【活動名】

防災キャンプ in かみのごう

### 【活動趣旨】

#### 自助

- ・避難生活を疑似体験することを通して、共助・公助の大切さに気づき、命を守るために自分ができることを考え、行動することができる。
- ・災害を乗り越えるためのスキルを学ぶ活動を通して、災害への備えを行うことができる。

#### 共助

- ・仲間とさまざまな活動を行うことを通して、仲間のよさに気づき、協力して生活する態度を育てる。
- ・自主防災会の方々とふれ合いを通して、ふるさと上之郷を自分たちで守ろうとする意識を育てる。

#### 公助

- ・自衛隊の方々と災害救助の活動内容や救助体験を知る事で、スキルアップと意識の向上を図る。
- ・自衛隊を通してふるさと日本への理解を深めると共に、キャリア教育に繋げる。

### 【実施日】

平成26年10月24日（金）～平成26年10月25日（土）

### 【実施場所】

御嵩町立上之郷小学校（可児郡御嵩町宿2002）

### 【参加範囲】

上之郷小学校全学年児童及びその保護者と地域住民（4学年児童のみ宿泊体験）

### 【参加人数】

250名（上之郷小学校全学年児童85人・保護者50人・地域住民115人）

### 【プログラム】

（1）地震体験「防災キャンプに向けて」

日時	プログラム	プログラム詳細
9月9日（火） 8:15	① 全校朝の防災活動 （ぼうさいかみのごう）	シェイクアウト避難訓練（全児童）
8:50～10:30	② 三上卓先生のお話 徳島大学環境防災研究センター特任准教授	共振現象、制振装置についての講義
10:30	③ 体験活動	地震体験車での地震体験 非常用防寒具の作成

(2) 防災キャンプ in かみのごう

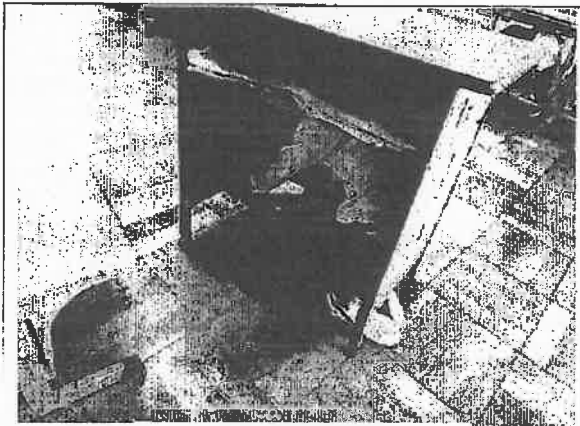
日 時	プログラム	プログラム詳細
10月24日(金) 8:15～8:40	④ 全校朝の防災活動 (ぼうさいかみのごう)	シェイクアウト避難訓練 (全児童)
8:40～12:15	⑤ 防災授業	1 限目 防災キャンプに関わる学級活動(4年生) 2 限目 防災に関わる道徳(4年生) 3・4 限目 心肺蘇生法【岐阜日赤協力】(4～6年生)
12:15～13:15	⑥ 防災昼食	自助パックでの食事体験(全校児童) ・アルファ米を使用し卓上コンロで調理
13:15	⑦ 防災運動会	バケツリレー、防災クイズラリー (全児童+保護者や地域住民)
15:10	⑧ 自衛隊(35普通科連隊)との体験学習1	天幕設営、防災夕食(4年生+保護者や地域住民) ・自衛隊が準備したものを試食
18:30～19:30	⑨ 防災講話	東日本大震災派遣部隊長より (4年生+保護者や地域住民)
19:30～21:00	⑩ 4年生企画のレクリエーション	自衛隊の方とレクリエーションダンス
21:00	⑪ 宿泊体験、就寝	自衛隊の方と寝袋の準備
10月25日(土) 6:30～8:40	⑫ 自衛隊(35普通科連隊)との体験学習2	天幕片づけ 防災朝食(自衛隊が準備したものを試食)
8:40～12:00	⑬ 自衛隊(35普通科連隊)との体験学習3	自衛隊の装備品(災害派遣車両)展示見学 人命救助セット体験、ロープワーク、土のう作成 (全児童+保護者や地域住民)
12:00	一斉下校	

### 【成果】

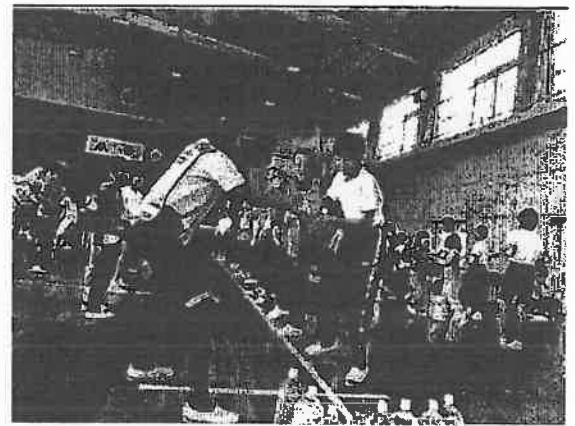
- ・ 学校と防災推進委員会が今まで共に活動してきたことで、委員会の活動が主体的になってきた。
- ・ 近隣自主防災会と児童（小学4年生）が宿泊をともにすることで、地域との触れ合いを深めることができた。
- ・ 防災運動会や自衛隊との体験学習で全校児童の防災意識や防災知識が高めることができた。
- ・ 自衛隊を招聘できたことで、地域住民も児童も公助について深く理解することができた。
- ・ （事業関係者）地域住民と児童が共に活動することで、児童の知識の多さが地域住民の学習意欲の高まりにつながった。
- ・ （参加者）近隣の交流を意識するよい機会となった。

### 【課題】

- ・ 毎年自衛隊が招聘できるとよいが、その確約が難しい。
- ・ 来年度の防災キャンプのあり方や継続的な活動にするための仕組みを明確にする必要がある。
- ・ 2年目となる近隣自主防災会との合同訓練を実践したが、来年度以降どのような形の合同訓練を行うべきか検討中である。
- ・ （参加者）4年生だけでなく、5、6年生も宿泊できると良かった。



シェイクアウト避難訓練



防災運動会  
地域の方々とバケツリレーの速さを競う



自衛隊（35普通科連隊）との体験学習



防災講話  
地域の方も多数参加した。

文部科学省 青少年の体験活動の推進「体験活動推進プロジェクト」委託事業  
 岐阜県教育委員会・御嵩町教育委員会・上之郷小学校による「岐阜県防災キャンプ推進事業」

# 防災キャンプ in 上之郷



## 活動内容

- 24日 8:40～防災学習  
(各学年)
- 12:15～自動パック昼食  
(全校児童)
- 13:55～防災運動会  
(児童：一般参加自由)
- 15:10～天幕設営・飯盒炊飯  
(4年生：自衛隊 / 一般見学自由)
- 17:30～防災夕食  
(4年生：自衛隊 / 一般参加自由)
- 19:00～講演「東日本大震災における自衛隊の救援活動」  
講師：岐阜県地方協力本部所長 水上 英夫(自衛隊 施設中隊 隊員のみなさん)  
(4年生：保護者 // 一般参加自由)
- 21:30～天幕設営  
(4年生：自衛隊 // 見学自由)

陸上自衛隊  
 第6施設群 第369施設中隊  
 第10師団 第35普通科連隊  
 自衛隊岐阜地方協力本部

の協力で実現

## 軽装甲機動車



- 25日 8:40～災害派遣車両展示  
 広帯搬送  
 人命救助セット  
 土嚢づくりなど体験活動  
 (全校児童 / 一般参加自由)

# 平成26年 10月24日(金) 25日(土)

岐阜県 可児郡 御嵩町立 上之郷小学校 敷地内

連絡先：〒505-0113 可児郡 御嵩町 番2002 TEL 0574-67-1338 FAX 0574-67-6438

防災キャンプ in かみのごう 広報チラシ

### ③ 都市部（中規模校）の防災キャンプ【中津川市】

#### 【活動名】

第一中学校区防災宿泊研修

#### 【活動趣旨】

- ① 避難所体験を通して、避難所でどのような活動ができるのか。また、どのような不便さがあるのかを知り、防災リーダーとしての心構えをつくる。
- ② 中学生とともに地域の大人が地域の危険箇所や防災設備の様子を確認することを通して、地域ぐるみの防災意識を高める。
- ③ 災害宿泊研修の活動を通して、一人一人が『自分も学年や学級のメンバーの一人である』という所属感をもつ。

#### 【実施日】

平成26年10月1日（水）～平成26年10月2日（木）

#### 【実施場所】

中津川市立第一中学校（中津川市駒場1606-3）

#### 【参加範囲】

第一中学校1学年及びその保護者と地域住民

※協力団体：中津川消防署、中津川防災士（防人会）

#### 【参加人数】

206人（第一中学校1年生88人・教員12人、保護者88人、地域住民62人）

#### 【プログラム】

日時	プログラム	プログラム詳細
10月1日（水） 8:15～8:30	はじめの会	
8:30～11:00	① 防災オリエンテーリング	グループごとに校区にある防災施設を見学する。 また、校区の危険箇所を見つけ、地図に記入する。 （緊急対応：中津川市消防本部）
11:00～12:00	② DIG（災害図上訓練）【前半】	指導者の説明を受け、グループごとに実施する。
12:00～13:00	③ 昼食（非常時対応給食）	手作りおにぎりと豚汁、魚肉ソーセージなど
13:00～14:00	④ DIG（災害図上訓練）【後半】	指導者の説明を受け、グループごとに実施する。
14:00～16:00	⑤ 防災講演会	避難所の活動に実際に関わった方から防災について学ぶ。講師：河田のどか氏（NPO「さくらネット」） ※防災・減災教育、災害にも強い福祉コミュニティづくり、協働による市民社会づくりに取り組むNPO法人

16:00～17:00	⑥ 避難所設営体験	体育館に段ボールでパーティションを作る。
17:00～17:30	⑦ 炊き出しの様子を見学	防災ベンチを利用した炊き出しの様子を見学。生徒は防災広場に各学級3列で整列。なるべくベンチに近づいて見る。
17:30～18:30	⑧ アルミ缶ストーブ作り体験	グループごとにアルミ缶とアルミ箔、サラダ油を使った簡易ストーブを製作。
18:30～19:30	⑨ 夕食	炊き出しのカレーを食べる。
19:30～21:00	⑩ 夜の学級会 (停電体験)	アルミ缶ストーブを灯し、懐中電灯で仲間へのメッセージを読む。
21:00～21:40	⑪ 研修と学びの整理	学習した内容をまとめたり、反省をノートに記入したりする。
21:40～22:00	就寝準備	
22:00	消灯	
10月2日(木) 6:30～7:00	起床、洗面	
7:00～7:30	朝食	市販のパンとお茶の朝食をとる。
7:30～8:15	歯磨き、トイレ、避難所清掃	
8:20～8:50	大縄跳び大会	
8:55～9:55	⑪ 防災集団行動	防火・防災クイズ、防災伝言リレー、バケツリレー等
10:00～10:50	⑫ 校内防災施設見学会	グループごとに防災施設の説明を聞く。マンホールトイレ、防災倉庫、シャワールーム見学
11:00～11:30	⑬ 終わりの会	全体集会 ・校長、生徒代表、先生の話
11:40～12:30	⑭ 防災キャンプの振り返り	
12:30～13:15	給食の後、下校	



D I G (災害図上訓練) のようす

**【活動名】**

みんなで楽しく学ぶ防災体験フェスティバル

**【活動趣旨】**

- ① 災害時に地域の一員として活躍できる生徒を育成する。
- ② 災害時の避難所体験を通して、避難所でどんな活動ができるのか。また、どんな不便さがあるのかを知り、防災リーダーとしての心構えをつくる。
- ③ 中学生のリードのもと活動を通して、地域の大人の防災意識を高める。

**【実施日】**

平成26年11月30日（日）

**【実施場所】**

中津川市立落合中学校（中津川市落合761-2）

**【参加範囲】**

落合地区地域住民、落合中学校生徒と教員

※協力団体：防災士なかつがわ会、区長会、落合まちづくり推進協議会

**【参加人数】**

250人（落合中学校全校生徒135名・教員15名、地域住民100名）

**【プログラム】**

日時	プログラム	プログラム詳細
11月30日（日） 8:15～8:30	① 初めの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの言葉</li> <li>・校長先生の話</li> <li>・終わりの言葉</li> <li>・区長会長の話</li> <li>・各ブースについての説明</li> </ul>
8:30～11:00	② 体験フェスティバル 開始	<p>各自それぞれのブースを回り防災施設の説明を聞く。 説明者は、中学生の生徒が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心搬送</li> <li>・要支援者の支援体験</li> <li>・防災紙芝居</li> <li>・AED・心肺蘇生体験</li> <li>・防災品展示・救急車両展示</li> <li>・水パック消火</li> <li>・避難所設営体験</li> <li>・「火事だ！」大声競争</li> <li>・地震揺れ体験</li> <li>・炊き出し</li> </ul>
11:00～11:30	③ 終わりの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの言葉</li> <li>・区長会長の話</li> <li>・校長先生の話</li> <li>・生徒会長の話</li> </ul>

## 【成果】

- ・ 第一中学校の設備が、災害時に避難所としての機能を持つこと。また、第一中学校の生徒が災害時に地域の防災リーダーとして活躍できることを地域にアピールできた。過去2年間の防災教育推進校の取り組みも含め、中津川市の防災モデル校として発信できるさまざまな取組ができた。
- ・ 岐阜県の防災教育推進テーマである「自分の命は自分で守る」ことについて、生徒が自らの命を守るスキルアップができた。
- ・ 地域の防災関係者の指導の下で図上訓練(DIG)を実施し、その後地域の協力を得ながら、実際に地域を歩き、地域の防災倉庫や避難場所などの確認ができた。
- ・ 実際に体育館にて避難宿泊体験をすることで、共助、公助の重要性を体験することができた。
- ・ 防災キャンプ事業については、会場が落合中学校へ変更となったが、防災士中津川会との連携を図り、多くの中学生がボランティアとして活躍する中、盛大に開催された。

## 【課題】

- ・ 地域を巻き込んだ事業に発展させたいと試行錯誤するが、地域参加を平日実施することは難しく、逆に学年・学校規模の事業を休日に実施することも難しい。
- ・ 防災フェスティバルについては各種団体等との調整に難しさがある。
- ・ 不自由が故の「防災キャンプ事業」であり、制限のある衣食住の体験であることが当然ではあるが、その実施内容の不自由さについて、アトピー、アレルギー、異性の配慮、精神的な不安を抱えた児童生徒の対応などで保護者の協力を得られるような体制づくりが必要である。



炊き出しのようすを見学



段ボールでパーティションを作成



アルミ缶ストーブの作成



体育館で就寝準備



## 防災キャンプの普及啓発

### 【活動名】

岐阜県社会教育推進大会

### 【趣旨】

社会教育の立場から「防災キャンプ」の成果を確認し、今後の防災に対する備えや地域づくりについて検討する。

### 【実施期日】

平成26年10月2日（木）

### 【実施場所】

瑞穂市総合センター（岐阜県瑞穂市別府1283）

### 【参加人数】

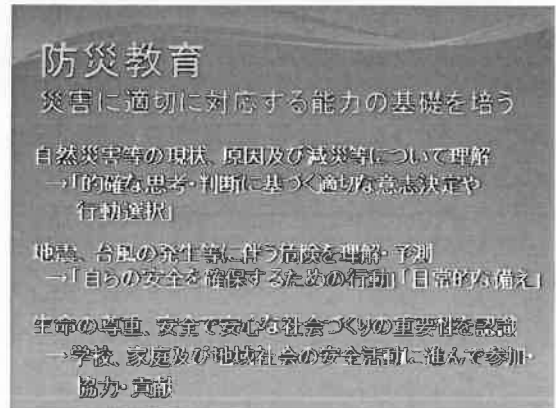
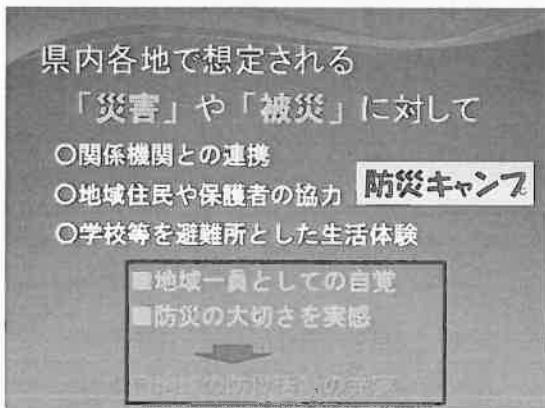
514人

### 【参加対象】

行政(教育委員会等)関係者、学校関係者、公民館関係者、社会教育団体関係者 等

### 【内容】

全体会で、防災キャンプに関する実践発表を行った。



社会教育推進大会 県教育委員会プレゼンテーション資料



### ▶ 活動内容 AED講習



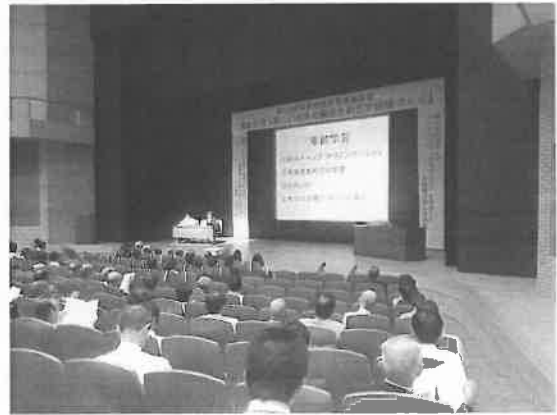
社会教育推進大会 郡上市プレゼンテーション資料



社会教育推進大会 中津川市プレゼンテーション資料



社会教育推進大会 御嵩町プレゼンテーション資料



社会教育推進大会 発表のようす

本報告書は、文部科学省の平成26年度委託事業として、岐阜県教育委員会が実施した平成26年度体験活動推進プロジェクト（防災キャンプ推進事業）」の成果を取りまとめたものです。

# 岐阜県防災キャンプ推進事業実施報告書

編集・発行 平成27年3月

岐阜県教育委員会 社会教育文化課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL:058-272-8754 FAX:058-278-2824

E-Mail:c17768@pref.gifu.lg.jp